
ボルテスVレガシー

先週観に行こうかと思ってたが、ズルズル引き伸ばしてしまってようやく鑑賞。

ハロウィンシーズンもあり、仮想風に着飾った子どもや一部大人などを見かけつつチネチッタへ。

TV2話までの話と聞いていたのであまり細かいことは気にしないで臨む。

当時も通して全話を見ていた記憶はないが、超合金玩具なども持っていたので何だかんだで思い入れはある。

もともとフィリピンでもTVシリーズで作られた事を考えると、ハリウッド映画のようなリッチな画作りではないもののがかなり検討しているのではなかろうか。

最初の合体シーンを見るに、玩具を買ってもらった思い出や家族の記憶なども想起されて思わず涙ぐんだ。

これじゃ地元の鮎を食わされて涙した京極さんと変わらぬではないか。

そんな事をぼんやり考えつつ、最後まで見続けた。

前述の通りチープさを感じる部分もあるが、技術的・予算的問題なのか原作に寄せるためにワザとか分からない。

ただ、ボルテスVへの愛だけは国を超えてもしっかり受け取れるレベルで迸っていた。

今時のマッシュデザインのボルテスVは情報過多とも思えるくらいディテールアップされている。

この辺は好みも分かれるかもしれないが、カッコいいから良いやととりあえず思った派。

特に思い入れがない層には刺さらないかもしれないが、スパロボなどで作品に触れたことがある世代は気が向いたら見てみてほしい。

今後やるテレビ放映版でもいいからさ。